事務事業ID 0847

## 平成 23 年度 事務事業マネジメントシート

平成 23 年 11 月 30 日作成

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称

単位

_													
	事務事業名	文化財保護管理事業			□ 実施計画登載事業			□合	□ 合併建設計画登載事業				
	Th//* #7	典 ひか シナ 赤 む し ご / 20 の 掛 2件			事 ** #1188			予算科目					
政	政策名	豊かな心を育む人づくりの推進 0:6:			事業期間			会計	款	項	目	事業	
政策体	施策名					単年度のみ							
系	基本事業名	文化財の保存と活用 0 ! 1 !											
	根拠法令	文化財保護法、県·市文化財保護条例、市文化財調査委員設置条例							01	10	05	02	12
	部課名	教育委員会事務局生涯等	学習課			期間限定複数年度							
月	課長名				□【計画期間】								
厚		文化財係	電話	27-3111	₹.	年度 ~		年度	.度		<u> </u>		
	担当者		内線	273	全体計画欄の総投入			記入					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述							3	全体記	十画(	期間限	定複数	年度σ	)み)
・文	化財の保護と管	理を行う事業。主な事業内容	は次のとお	りである。					田園園	支出金	순		
7	文化財調査委員会	公有地等の刈払い(委		郥	+	府県支出金							
化財バトロール、 国特別大然記念物ニホンカモシカの保護及び滅矢処理(保護は市直宮、滅矢は委託)、							[   総	事源	₹ #J	也方債			
							投	業 戊	3 <del></del> -	その他			
文化財防火査察(消防署との連携)、 天然記念物銘木樹勢回復(委託)、 碁石海岸管理情報の整理(指定								費割	7				
範囲等の確認)、 国特別天然記念物ニホンカモシカ食害対策(農林課との連携による防除網の設置)、 民芸能の育成支援(郷土芸能協会への運営費補助)、 開発行為に係る埋蔵文化財の保護指導、 文化財ー								l  -		般財源			
芸能の育成支援(郷土芸能協会への運営費補助)、 開発行為に係る埋蔵文化財の保護指導、								<u> </u>	事業費		/		0
の現状変更·各種届出·依頼調査等への対応、 指定文化財台帳の整理  ・事業費は、ニホンカモシカ滅失処理、刈払い委託、樹勢回復委託、郷土芸能協会運営費補助等に支む							(千円	人교	E規職員				
						費補助等に支出され	甴	件	延べ業	務時間	1		
<b>ే</b> .							$\overline{}$	費	人件費計 (B)		)		0
								<u> </u>	タルコス	ト(A) + (	(B)		0

## 1 現状把握の部(DO) (1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

	牛皮美額(則牛皮に行っ								<b>名</b> 称		甲位
文化財調査委員会議、文化財公有地等の刈払い、国特別天然記念物ニホンカモシカの保護及び滅失処理、天然記念物銘木樹勢回復、民俗芸能の育成支援、開発行為						ア	7 埋蔵文化財発掘届出·有無照会受付数			件	
に係る埋蔵文化財の保護指導など					7	1	, ニホンカモシカの保護·滅失処理数			件	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様							- 100 1 + 00 1+ A 1 - 00 57 (1 N/				
HU누/又니U7隊							ウ	ウ 郷土芸能協会加盟団体数			団体
						対象指標(対象の大きさを表す指標)					
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等								名称			単位
指定文化財、埋蔵文化財、市内で開発行為を行う事業者、市民								指定文化財数			件
								F 埋蔵文化財数			箇所
	意図(この事業によって	対象	をどう変えるの	のか)			ク				
	【化財が現状維持される。 【化財が無断で破壊されなし	,					_	4 田 12 1番			
×	(化別が無例で破場でもなり	10						<b></b>	(対象における意図の達 名称	成度を表す指標)	単位
						V		<u></u>		11. D.L. W.L.	
	結果(基本事業の意図:	上位σ	)基本事業に	どのように貢献	するのか)	\	ヮ	滅矢せすり	見状が維持された	指定文化財数	件
<ul><li>・保存・活用される。</li><li>・次世代に継承される。</li></ul>							シ	郷土芸能協会加盟団体出演回数			回
							ス	埋蔵文化則	オの保護指導数		件
2)	総事業費・指標等の推	多	_					,			
			年度 単位	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19	9年	度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績
	財国庫支出金		千円								
	事源都道府県支出金		千 円								
	事 派 地方債 大 の の の の の の の の の の の の の の の の の の		千 円 千 円								
殳	事 湖 都道府県支出金 地方債 その他		千 円 千 円 千 円	1.587	2.670			1.803	1.813	2.049	2.23
殳人	事業 費 間 での他 一般財源 事業費計(A)		千 円 千 円	1,587 1,587	2,670 2,670			1,803 1,803	1,813 1,813	2,049 2,049	
ひ し 量	事業 費 料が 一般財源 一般財源 事業費計(A) 人 正規職員従事人数		千 円 千 円 千 円 千 円	1,587 4	2,670 3			1,803 4	1,813 4	2,049 5	2,23
ひ し 量	事業 費 料が (内) (子の他) (一般財源 事業費計(A) 人 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)		千 円 千 円 円 円 円 千 円 円	1,587 4 1,725	2,670 3 2,100			1,803 4 2,200	1,813 4 2,200	2,049 5 3,000	2,235 2,500
ひ し 量	事業 サ方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 人 正規職員従事人数 件 延べ業務時間 費 人件費計 (B)	2)	千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1,587 4 1,725 6,900	2,670 3 2,100 8,400			1,803 4 2,200 8,800	1,813 4 2,200 8,800	2,049 5 3,000 12,000	2,235 5 2,500 10,000
ひ し 量	事業 費 料が (内) (子の他) (一般財源 事業費計(A) 人 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	<u> </u>	千千千十八時十千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1,587 4 1,725 6,900 8,487	2,670 3 2,100 8,400 11,070			1,803 4 2,200 8,800 10,603	1,813 4 2,200 8,800 10,613	2,049 5 3,000 12,000 14,049	2,235 2,500 10,000 12,235
ひ し 量	事業 サ方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 人 正規職員従事人数 件 延べ業務時間 費 人件費計 (B)	3)   7   1	千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1,587 4 1,725 6,900	2,670 3 2,100 8,400			1,803 4 2,200 8,800	1,813 4 2,200 8,800	2,049 5 3,000 12,000	2,235 2,500 10,000 12,235 18
ひ し 量	事 業 費 性方債 子の他 一般財源 事業費計 (A) 正規職員従事人数 延べ業務時間 費 人件費計 (B) トータルコスト(A)+(E	ア	千千千千八 時 千千千千	1,587 4 1,725 6,900 8,487 135	2,670 3 2,100 8,400 11,070			1,803 4 2,200 8,800 10,603 120	1,813 4 2,200 8,800 10,613 126	2,049 5 3,000 12,000 14,049 174	2,238 2,500 10,000 12,238
ひ し 量	事 業 費 性方債 子の他 一般財源 事業費計 (A) 正規職員従事人数 延べ業務時間 費 人件費計 (B) トータルコスト(A)+(E	アイ	千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 <b>件 件</b>	1,587 4 1,725 6,900 8,487 135	2,670 3 2,100 8,400 11,070 168			1,803 4 2,200 8,800 10,603 120	1,813 4 2,200 8,800 10,613 126	2,049 5 3,000 12,000 14,049 174 3	2,235 2,500 10,000 12,235 18
又人量	事 業 費 性方債 子の他 一般財源 事業費計 (A) 正規職員従事人数 延べ業務時間 費 人件費計 (B) トータルコスト(A)+(E	ア イ ウ	千千千千千人 時千千 件 件 団体	1,587 4 1,725 6,900 8,487 135 8	2,670 3 2,100 8,400 11,070 168 9			1,803 4 2,200 8,800 10,603 120 9 33	1,813 4 2,200 8,800 10,613 126 6 32	2,049 5 3,000 12,000 14,049 174 3 32	2,238 2,500 10,000 12,238 18
又人量	事 説 都道府県支出金地方債 内内 での他 一般財源 事業費計 (A) 人 正規職員従事人数 件 延べ業務時間費 人件費計 (B) トータルコスト(A) + (E	ア イ ウ カ	千千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1,587 4 1,725 6,900 8,487 135 8 34	2,670 3 2,100 8,400 11,070 168 9 34			1,803 4 2,200 8,800 10,603 120 9 33 86	1,813 4 2,200 8,800 10,613 126 6 32 86	2,049 5 3,000 12,000 14,049 174 3 32 86 185	2,238 2,500 10,000 12,238 18
ひ し 量	事 説 都道府県支出金地方債 内内 での他 一般財源 事業費計 (A) 人 正規職員従事人数 件 延べ業務時間費 人件費計 (B) トータルコスト(A) + (E	ア イ ウ カ キ	千千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1,587 4 1,725 6,900 8,487 135 8 34 86 184	2,670 3 2,100 8,400 11,070 168 9 34 86 184			1,803 4 2,200 8,800 10,603 120 9 33 86 184	1,813 4 2,200 8,800 10,613 126 6 32 86 184	2,049 5 3,000 12,000 14,049 174 3 32 86 185	2,235 2,500 10,000 12,235 18 3 8 18
<b>设入</b> 量	事 説 都道府県支出金地方債 内内 での他 一般財源 事業費計 (A) 人 正規職員従事人数 件 延べ業務時間費 人件費計 (B) トータルコスト(A) + (E	ア イ ウ カ キ ク	千千千千人間円円 件 付 件 箇 件 体 件 所	1,587 4 1,725 6,900 8,487 135 8 34 86	2,670 3 2,100 8,400 11,070 168 9 34 86 184			1,803 4 2,200 8,800 10,603 120 9 33 86 184	1,813 4 2,200 8,800 10,613 126 6 32 86 184	2,049 5 3,000 12,000 14,049 174 3 32 86 185	2,238 2,238 2,500 10,000 12,238 18 3 8 18

事務事業ID 事務事業名 文化財保護管理事業 0847

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和25年文化財保護法、昭和32年県文化財保護条例、昭和35年市文化財保護条例の施行後、文化財の保護・管理を図るために始められた。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか? 平成13年に三陸町と合併し、指定文化財が増えた。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・文化財公有地(史跡)の刈り払いを充分にやって、草がのびないようにしてほしい(周辺住民から)。 ・天然記念物樹木の腐朽が進んでいるものは、治療を行ったほうがよい(樹木医師から)。

2	対価の部(855)	* 百别计事络邻体	ただし複数年度事業は途中評価
/	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	^ /兄 即   人 事   友   許	1616 17楼数年及事事1475中部1111

÷		□、たた○及数十及事業は定「前」回
	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 結びついている 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 文化財の保護保存及びその継承が図られることは、地域文化の伝承と創造のもととなり、豊かな心を育む人づくり の推進に結びつく。
目的妥	公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ■ 妥当である 【理由】 3
妥当性評価	なぜこの事業を当市が行わなければ ならないのか?税金を投入して、達 成する目的か?	文化財保護法、県・市文化財保護条例で、公共の関与が示されているため。
価	対象・意図の妥当性	見直し余地がある
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	対象や意図を縮小すれば、文化財の適切な保護保存ができなくなる。
	成果の向上余地	□ 向上余地がある
	成果を向上させる余地はあるか?成 果の現状水準とあるべき水準との差 異はないか?何が原因で成果向上が 期待できないのか?	・文化財公有地(史跡)の刈払いの回数が足りない。 ・天然記念物樹木の養生・治療が十分にできていない。
_	廃止・休止の成果への影響	<ul><li>▶響無 【理由】</li><li>3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>▶響有 【その内容】</li></ul>
有効性評		指定文化財や埋蔵文化財の保護保存ができな〈なる。
価	類似事業との統廃合·連携の 可能性	一 他に手段がある 🤜 (具体的な手段,事務事業)
	目的を達成するには,この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<ul> <li>厂 統廃合・連携ができる 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>厂 統廃合・連携ができない 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>文化財の保護管理を行う事業は、これのみである。</li> <li>✓ 他に手段がない 【理由】 4</li> </ul>
	事業費の削減余地	削減余地がある
効率		文化財公有地の刈払い、天然記念物樹木の治療など外部への事業委託も行っており、これ以上の削減は事業の 停滞を招く。
性評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<ul><li>□ 削減余地がある</li><li>□</li></ul>
ІЩ	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	一般事務職員2名(専任1名、兼任1名)、専門的知識・技術を有する職員2名(専任1名、兼任1名)、嘱託職員1名 (埋蔵文化財調査員)が他の文化財事業と並行して事務事業を行っており、これ以上の削減は事業の停滞を招く。
公亚	受益機会·費用負担の適正 化余地	□ 見直し余地がある 【理由】 つ 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☑ 公平·公正である 【理由】 つ
平性評価		文化財は指定されることによって公的な財産でもあることから、行政が保護保存に係る費用を負担することは妥当である。また日常的な管理については所有者が行っており、所有者の負担が日常管理の負担を超えて大きくなる場合には行政が費用を負担している。

事務事業ID 0847	事務事業名	文化財保護管理事業		
3 評価結果の総括と今後の方向			-	
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省)	
目的妥当性	適切	見直し余地あり		D枯損状態がいっそう進んだため、緊急的か、大船渡の三面椿の平成10~11年度ぽ
有効性	適切 🔽	見直し余地あり	施の補修部分の再補修並びは ・ 東日本大震災の発生に伴	こ周辺環境整備を実施した。 ハ、3月下旬に開催を予定していた文化財
効率性	適切 🗆	 見直し余地あり	調査委員会議は、中止した。	
公平性	適切	見直し余地あり		
(3) 次年度の方向性(改革改善案	€)・・・複数選択	【可 (ただし、廃止・休止	<u> </u>  -  - 現状維持は他と重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果
「一-—-—-—-—-   「 廃止	— - — - — 的再設定 <b>厂</b>	— - — - — - — 「事業統合・連携	— -	左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待で きる成果について該当欄に「」を記入する。
事業のやり方改善 ( 🗸 有)			平性改善)	(廃止・休止の場合は記入不要)
(上記方向性に対する具体的)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>• #</b> # # #		コスト削減 維持 増加
<ul><li>・文化財公有地の刈払いの回数を ・天然記念物樹木の保存状況を調</li></ul>				向
				上
				旗 排
(5) 改革改善を実現する上で解決				
·文化財公有地(史跡)の刈払い、 ·今後の文化財の保護保存を図る			用を調整していく。	
			(職名) 原則として施策の主	管課長
4 事務事業の2次評価結果		2次評価者	生涯学習課長	
(1) 1次評価結果の客観性と出来		n ak >== :		
記述水準(1次評価の記述) 「記述不足でわかりにくい		段階で選択)		
一 一部記述不足のところだ	がある			
▼記述は十分なされている		・松今的に判除して驚	<b>+</b> □ \	
	<b>重が偏っている</b>		択) 課題が認識されてない)	
<ul><li>一 一部に客観性を欠いた。</li><li>▼ 客観的な評価となってい。</li></ul>		か問題占 課題が認識	まされている)	
(2) 2次評価者としての評価結果			(3) 評価結果の根拠と理由	
_	適切	見直し余地あり	史跡公有地の刈払い回数が少	いない。
有効性		見直し余地あり		
	適切	<u> </u>		
	適切	見直し余地あり		
				(5) 功某,功美に b 2 期待成用
(4) 次年度の方向性(改革改善案 	€)'''複数選択 	(り (たたし、廃止・休山 	L・現状維持は他と重復不可) — - <i>—</i> - <i>—</i> - <del>—</del> - <del>-</del>	(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に
	的再設定		現状維持	「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる。場合には、1次評価の結果も「」で記入する。
;	効性改善   「 たまっこ」   「 たまっこ」	「効率性改善 <u></u> 公 	·平性改善) <b> </b> —-—-—-—- <b>-</b>	(廃止・休止の場合は記入不要)
(上記方向性に対する具体的) 史跡公有地の刈払い回数の増加		樹木の保存状態への対応	- 応など、文化財の適切な維持に努	
める。				向上
				成維果持
				低
				下   <b>×</b>   <b>×</b>
5 最終評価結果				
(1) 行政経営推進会議等での指抗	· 事項			